



藤野 勝成さん(NHK徳島放送局 気象予報士)

NHK徳島放送局で放送している番組「とく6 徳島」で気象キャスターを務める。徳島市防災サポーター就任4年目(メンター防災サポーター)。防災サポーター向けの研修会の講師として講演も行っている。



野口 七海さん(四国放送株式会社 アナウンサー)

四国放送ラジオ「となりのラジオ」(月)でパーソナリティを務める。「いつ備えるか?今でしょ!」という防災コーナーを立ち上げ、いまずぐできる防災などについて発信中。徳島市防災サポーター就任1年目。



鈴江 結衣さん(徳島県立城東高等学校3年生)

城東高等学校の防災クラブに所属しており、避難訓練の運営に携わるなど、積極的に防災に関する活動に取り組んでいる。2024年に防災士の資格も取得。徳島市防災サポーター就任1年目。

「てみたよ」という声も届いています。そういう取り組みが広がるといいなと思います。



▲野口さんの防災ボトル(左)と防災ポーチ(右)



▲防災ボトルの中身(写真提供:野口さん)

徳島市の取り組み

◆市長 徳島市の取り組みについて紹介させていただきます。

まず、市役所本庁舎北側で、徳島市危機管理センターの整備を、今年完成予定で進めています。この危機管理センターは災害対策本部としての機能が充実しています。情報収集分析機能、情報伝達発信機能を強化し、自動で沿岸部へ飛んで帰ってくる高性能のドローンを用意しています。昭和南海地震の際、何かに挟まって浮いていて流された方が結構いらしかったそうです。ドローンがあれば、潮の流れを予測し、助けを求めている方の早期発見に繋がると思います。



▲危機管理センター外観イメージ

また、備蓄の面では子どもや女性、妊娠婦の方を対象とした備蓄品の整備に力を入れています。

防災サポーターの皆さんのご意見を参考にしながら選定を行いました。具体的には、子ども用のおもちゃ、アレルギーのお子さんのための米粉クッキー、衛生用品、妊娠婦用の肌着、授乳ケープなどです。また、ポータブルトイレ、簡易ベッドの整備も今一生懸命進めているところです。避難所で皆さんが安心安全に、心穏やかに生活していただけるように整えることはとても大切です。

それから、大規模災害の発生を想定した「徳島市民総合防災訓練」も年2回行っています。防災サポーターの皆さんにも参加していただき、地域住民の方と連携して避難所での運営や生活などを実際に体験していただいています。

徳島市にもっと必要なことは

◆市長 徳島市に、もっとこうした方が良いというご提案はありますか。

◆鈴江 学校には徳島市の備蓄品があり、先日市の職員の方がポータブルトイレを届けてくれました。食料などいろんな物資は既に揃っていますが、その備蓄品を上手く活用できる人の育成も大切だと思います。

◆藤野 市の職員の方々は毎日知恵を絞って、いろんな対策などを考えていらっしゃると思っています。そういった市の活動をもっと市民の方々に知ってもらう機会があればいいなと思いますね。我々も、そこを紹介していきたいです。

◆野口 防災サポーターの任命式のときに、女性用の備蓄品などを見せていただきましたが、これだけ力を入れている市は珍しいと感じましたし、皆さんのご家庭でも備蓄品を揃える参考になると思うので、市の備蓄品について発信するのはどうでしょうか。また、ラジオ番組を担当していて、防災の意識は地域によって本当に差があると感じますので、地域の防災意識の差をなくしていける取り組みが必要かと思っています。

◆市長 皆さんのお話にあったように、人材の確

保や市の備蓄や防災活動を知ってもらうことは大切です。それに加え、個人での備えも欠かせません。地震では、まず揺れから命を守ることが基本で、市では既存木造住宅の耐震診断、耐震改修の支援を行っています。自分の家が不安な方は、耐震診断や改修を検討し、家具もしっかり固定してください。沿岸部に住む方は、とにかく逃げることを意識していただきたいと思います。

皆さんへのメッセージ

◆市長 皆さんから、広報とくしまをご覧いただいている方々に、何かメッセージはありますか。

◆鈴江 一人一人の小さな防災への心がけが、まち全体の防災力を高めるきっかけになると思うので、ぜひ今回の記事をきっかけに、避難リュックの準備や見直し、近所の避難所・避難場所の確認をしていただけたらいいなと思います。

◆野口 災害が起きた時は、「普段以上の力は出せない」とよく言われるように、日常の行動がいざというときの避難に繋がると思います。耳が痛いと言われても、防災への呼びかけを続けて、みんなが「こうなった時はこう動く!」という行動が自然とできるように呼びかけていきたいです。

◆藤野 「枕元に靴を置きましょう!」というような、日々何かを見て防災を意識するという訓練の大切さを皆さんに伝えたいです。私たちの記事を見て、皆さんの意識や行動が少しでも変わってもらえればいいなと思っています。

◆市長 自分で考えて助かる行動をすることが大切です。藤野さんと野口さんは発信力が非常に強いので今後も頼りにしています。鈴江さんは、これからの人生で立場が変化していくでしょうが、その時ごとに自分ができることをしっかり続けて、周りの人たちの見本になってください。広報とくしまをご覧いただいた一人でも多くの方々が、問題意識を持って行動してくださることを願っています。ありがとうございました。



△藤野さんは新年柄のネクタイで参加。出演番組でも季節のデザインを愛用。